

イノベーション部門

応募事例名

下水から肥料つくります
～下水再生リン「はま巡リン」の肥料化、普及展開～

応募団体名) 横浜市

応募事例の概要

- 下水汚泥から再生リン (MAP) を回収して肥料化、市内流通を目指す。
- 横浜市、JA横浜、JA全農かながわの3者で再生リンの肥料利用促進に関する協定を締結し、連携して取り組んでいる。

横浜市

- ✓ 令和6年3月MAPの製造開始
- ✓ 令和6年6月MAPを肥料登録
- ✓ 再生リン事業のPR

JA全農かながわ

- ✓ MAPを10%配合の再生リン入り肥料 (8-8-8肥料) を製造



はま巡リン
横浜生まれの「再生リン」

再生リンのPRロゴマーク
「はま巡リン」

JA横浜

- ✓ 再生リン入り肥料の普及・啓発に向けた試験栽培の実施、農家への肥料の配付
- ✓ 再生リン入り肥料のブランド化
- ✓ 「浜いも」プロジェクトでサツマイモ栽培に再生リン入り肥料を利用！！



下水汚泥から回収した
再生リン



再生リン入り肥料
(8-8-8肥料)

PRポイント

- 下水汚泥を集約処理しスケールメリットを生かした効率的なリン回収ができる横浜市、市内のほとんどの農家を構成員とする組合であるJA横浜、生産資材の供給など県内の営農支援をしているJA全農かながわの3者が、**それぞれの長を生かして連携**!! 農家や消費者のニーズを反映した普及展開が期待できます。
- 再生リン入り肥料を**地域循環型の肥料として流通**させることで、サーキュラーエコノミーの構築に貢献します。

取組みに関するエピソード

組合員農家の皆さんに再生リン入り肥料を使ってもらうため、再生リン回収施設の見学会や、組合員向け情報冊子などで周知をしてきました。

JA横浜野菜部ではサツマイモの栽培に取り組むプロジェクトメンバーが中心となって、再生リン入り肥料を活用して栽培したサツマイモを「浜いも」としてブランド化する、「**浜いも**」プロジェクトを推進しています。再生リンの利用をはじめ、国内未利用資源の活用など、一丸となって**環境に配慮した循環型農業を推進**していきます。



左から JA横浜野菜部
元部長 皆川 嘉昭
元副部長 池田 昌訓
JA横浜
営農部長 小金井 進